

静岡学園なごみ高等学校 通信教育実施計画書

論理国語	単位数	4 単位	年次	2 年	教科書	東京書籍
-------------	------------	------	-----------	-----	------------	------

学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的, 批判的に考える力を伸ばすとともに, 創造的に考える力を養い, 他者との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに, 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ, 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め, 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◆年間指導計画

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1 学期				
広がる風景 (4月)				
読む 対話とは何か	[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, エ ④ 読むこと(2)イ	・対話についての筆者の考えを捉え, 日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。	<第1時> 1 「対話」と「おしゃべり」の違いに注意しながら, 本文を通読する。(手引き1) 2 本文で使われている接続表現を挙げ, その中から「逆説」「根拠」の接続表現に当たるものを指摘する。(論理の力) 3 「他者不在の言語活動」とはどのようなことかを読み取り, まとめる。(手引き2) 4 「対話」と「おしゃべり」の違いを本文の論旨をもとにまとめ, 「対話成立のポイント」が何かを理解する。	[知技] ・言葉には, 言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などを的確に捉え, 論点を明確に


			<p><第2時></p> <p>1 「他者存在としての相手の領域に大きく踏み込む行為」とは、どのような行為かを読み取り、まとめる。(手引き3)</p> <p>2 筆者は「対話」の意義をどのように捉えているか、本文の論旨をもとに読み取り、まとめる。(手引き4)</p> <p>3 「対話」と「おしゃべり」の違いを理解したうえで、ふだんの生活の中でどんなときに「おしゃべり」をし、どんなときに「対話」をしているかを振り返り、話し合う。(言語活動)</p>	<p>しながら要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>[主] 積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え、学習課題に沿って自分の生活におけるコミュニケーションの在り方を振り返ってまとめ、話し合おうとしている。</p>
<p>読む 世界をつくり替えるために</p> <p>■論理の力を鍛えよう</p>	<p>[知技] (1)ア、イ、ウ [思判表] 読むこと(1)ア、ウ ㊦ 読むこと(2)ウ</p> <p>[知技] (2)ア [思判表] 読むこと(1)エ</p>	<p>・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。</p> <p>・書かれている内容を理解し、論理的に考えることの意義を知る。</p>	<p><第1時></p> <p>1 四つの意味段落で述べられている筆者の考えを押さえながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 筆者の考えを理解するうえでよく分からなかった部分について、質問を考えまとめる。(論理の力)</p> <p>3 「論理的」とはどういうことか、文章の論理的構造を捉えるために必要なことは何かを理解する。(論理の力を鍛えよう)</p> <p>4 比喩表現の意味を理解し、論の起点となる内容を読み取る。(手引き2)</p> <p>5 筆者の主張する「学ぶことの段階」について、具体的に読み取り、まとめる。(手引き3)</p> <p><第2時></p> <p>1 学ぶことの第一歩である「好き嫌いの感覚から距離を置くこと」の意味について読み取り、まとめる。(手引き4)</p> <p>2 「学ぶためのもう一つのポイント」である「思考の基本」について、読み取り、まとめる。(手引き5)</p> <p>3 自分の中にある、学ぶことに関する「種」について、話し合う。(言語活動)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>[主] 粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味につ</p>

				いて理解し、学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ、話し合おうとしている。
読む 【論理の力】 論理とは何か	[知技] (2)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)ウ, エ	・書かれている内容を理解し、「論理的」とはどういうことかを学ぶ。	<第1時> 1 狭い意味での論理について、【例1】から「演繹」という推論の仕方を理解する。 2 広い意味での論理について、【問1】の文章から考え、「論理的」であることの意味を解説とともに確認する。	[知技] ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 [思判表] ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 [主] 進んで演繹的な推論について理解し、学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。
考える手がかり (4～7月)				
読む 少女たちの「ひろしま」	[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)イ, エ, カ	・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。	<第1時> 1 三つに分かれたそれぞれの部分の話題に注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 筆者の認識の変化が最もよく示されている部分を捉え、指摘する。(論理の力) 3 筆者が美しいと感じた石内都の写真集の特徴と、「洋服たち」に対する視点を捉える。(手引き2・3) <第2時> 1 被爆死した女性たちと筆者をつなぐ「回路」の意味を捉える。(手引き4・5)	[知技] ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。

				<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <p>[主] 粘り強く筆者独自の「視点」を理解し、今までの学習を生かして戦時下の人々の日常と自分との接点について、考えを深めようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>【論理の力】</p> <p>要約する力</p>	<p>[知技] (2)ア, イ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア, エ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し、適切に要約する力を養う。 	<p><第1時></p> <p>1 文章の「幹」(中心的主張)と、「枝葉」(読ませる工夫・分かりやすくする工夫・根拠を示す「太い枝」という構造を理解する。</p> <p>2 文章を「根」(問い)と答えの構造を持つものと捉えることを理解し、【問7】の要約作業を通して、文章構造への理解を深める。</p> <p><第2時></p> <p>1 「要約するための五つのステップ」を読み、要約する手順とポイントを理解する。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 <p>[主] 進んで論理的な文章の構造を理解し、学習課題に沿って中心的主張を捉えた要約の方法を理解しようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>「ふしぎ」ということ</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア, カ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。 	<p><第1時></p> <p>1 本文を通読し、子供の頃「ふしぎ」に思ったことを発表する。(手引き1)</p> <p>2 具体例を挙げて説明している部分を指摘する。(論理の力)</p> <p>3 本文の三つの部分で取り上げている事柄や問題につ</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。


<p>言葉の扉① ……慣用句の意味</p>	<p>[知技] (1)イ [思判表] 読む こと(1)ア</p>	<p>・慣用句の意味について理解する。</p>	<p>いてまとめる。(手引き2) 4「あたりまえ」と感じていることを「ふしぎ」と受け止めることの意義について理解する。(手引き2-1) <第2時> 1子供の説明が「物語」に直結しているということについて理解する。(手引き3) 2「自然科学」の方法と「物語」の違いについて理解する。(手引き4) 3本文の要旨をまとめる。(手引き5) 4「慣用句の意味」を通読し、慣用句の意味について確認する。ふだん使っている慣用句を挙げて振り返ってみてもよい。(言葉の扉①……慣用句の意味)</p>	<p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 [主]積極的に具体例を通して筆者が述べようとしている考えを読み取り、学習課題に沿って筆者の考える「物語」の捉え方を理解しようとしている。</p>
<p>読む 【論理の力】 つなげる力</p>	<p>[知技] (1)ウ/ (2)ア [思判表] 読む こと(1)ア, エ</p>	<p>・「接続関係」について学び、文章を論理的に理解する力を養う。</p>	<p><第1時> 1論理的文章において、接続表現を用いることの重要性を、【問2】の文章から考える。 2「逆接」の接続関係と接続表現について、【例2】【例3】の文章から理解を深める。 3逆接の接続関係の捉え方を、【問3】の文章から考え、解説とともに確認する。 <第2時> 1「例示」の接続関係と接続表現「例えば」を、【例4】の文章から確認し、【問4】の文章から、例示の接続関係について理解を深める。 2「根拠」の接続関係では、結論の示し方によって用いる接続表現が異なることを【例5】と【例6】の文章から理解し、根拠の接続関係の捉え方について、【問5】とその解説から理解を深める。</p>	<p>[知技] ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 [主]粘り強く論理的な文章の接続関係と接続表現の理解を深め、今までの学習を生かして接続関係を捉えようとしている。</p>
<p>書く 資料を整理し、テーマ</p>	<p>[知技] (2)ア, イ [思判表] 書く</p>	<p>・資料を集めてさまざまな観点から整</p>	<p><第1～3時></p>	<p>[知技] ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係につ</p>

<p>を吟味しよう</p>	<p>こと(1)ア, イ, エ ㊦書くこと(2) ア</p>	<p>理し, テーマを吟味する。</p>	<p>1 「学習の流れ」を読み, 活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「課題」(P54)の中から一つを選ぶ。②を選んだときには, 新聞・テレビのニュースなどから, 興味・関心のある社会的な問題を書き出し, 仮テーマを決める。 *仮テーマを決める際は, 身近で具体的な問い(課題)を作って, テーマが大きすぎないように内容を絞ったり, 一義的ではなく立場による解釈の多様性があるものを選んだりするよう留意する。</p> <p>3 「活動のポイント」1を参考に資料収集の方法と資料の信頼性を見極めの大切さを理解し, 仮テーマに沿って, 図書館のデータベースやインターネットなどを活用して資料を探す。 *資料を探す際は, やみくもに大量の資料を収集することのないよう, 問い(課題)や目的と照らし合わせて, あらかじめどのような資料が必要かの目安を立てるとよい。</p> <p><第4～6時></p> <p>1 「活動のポイント」2・3にある「成年年齢引き下げ」の場合から, 資料を整理する観点と, 表にまとめる意義を理解する。</p> <p>2 「情報整理のポイント」の五つの観点に沿って, 集めた資料を整理する。「書き手の立場」「内容」「文章の形式等」「発表された時期」「対象とする読者」の項目別に, 表(P52)にまとめ, 各資料の特徴を確認する。資料に偏りや不足がある場合は, 随時資料収集の機会を設ける。</p> <p><第7～9時></p> <p>1 「活動のポイント」4より, 各資料の論点を比較するポイントを捉え, 自分の立場や意見, 問題意識の明確化との関連性を理解する。</p>	<p>いて理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において, 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について, 書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集, 整理して, 目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 ・「書くこと」において, 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら, 自分の立場や論点を明確にして, 主張を支える適切な根拠をそろえている。 ・「書くこと」において, 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり, 根拠や論拠の吟味を重ねたりして, 主張を明確にしている。 <p>[主] 積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し, 学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し, 適切なテーマを設定しようとしている。</p>
---------------	--	----------------------	---	--

			<p>2 「論点整理表」の四つの観点に沿って、資料を整理する。「背景と意義」「主張と根拠」「他資料との関係」「自身の意見」の項目別に、表にまとめる。</p> <p>3 論点を整理したことで見えてきた、テーマについての自分の立場や意見、問題意識をまとめる。</p> <p><第10・11時></p> <p>1 「活動のポイント」5より、テーマを検討する観点を理解し、テーマ設定と資料の収集・整理との関係をP47の図をもとに理解する。</p> <p>2 五つの観点（P54）からテーマの検討を行う。各自が書きあげた表を、四～六人のグループ内で確認し合い、互いに疑問点の指摘や助言を行う。その結果からテーマの変更や修正を行って、適切なテーマの設定をする。</p> <p>3 資料の表を作成する過程で生じた困難や浮かんだ疑問、気づいたことなどをグループで話し合う。</p> <p>4 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>*  この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
--	--	--	--	--

■ 2 学期

人間と知性（9月）

<p>読む 学ぶことと人間の知恵</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, オ, キ  読むこと(2)</p>	<p>・ 文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「コンピューター」と「人間」の違いに注意しながら、本文を通読する。（手引き1）</p> <p>2 本文の中心的な「問い」を端的に表現している一文と、その問いを詳しく表現し直している一文をそれぞれ指摘する。（論理の力）</p>	<p>[知技]</p> <p>・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>
--------------------------	---	--	---	---

	エ		<p>3 「忘却」という人間特有の能力の長所と短所を読み取り、確認する。</p> <p>4 勉強しても忘れてしまうにもかかわらず、筆者が「学ぶことは、結果として無駄にはならない」と述べる理由を読み取り、まとめる。(手引き2)</p> <p>5 人間の脳のみが持っている「ゆとり」とは、頭脳のどのような状態のことを言うのかを読み取り、まとめる。(手引き3)</p> <p>6 人間の頭脳にある「寛容性」とはどのようなものであるかを読み取り、まとめる。(手引き4)</p> <p><第2時></p> <p>1 「知恵」の「広さ」「深さ」「強さ」それぞれについて整理し、まとめる。(手引き5)</p> <p>2 学ぶことの意義における筆者の主張のまとめを読み取る。</p> <p>3 「コンピューター」と「人間」の違いについて、関連する他の文章を読んで話し合う。(言語活動)</p>	<p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</p> <p>・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主] 積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、今までの学習を生かして人間の思考や学ぶことの意義について、コンピューターと比較することによって筆者の意図と自分の考えを整理し、話し合おうとしている。</p>
<p>読む ラップトップ抱えた「石器人」</p> <p>■ 文章を読み比べるために</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, オ, キ ④ 読むこと(2)エ</p> <p>[知技] (2)ウ [思判表] 読むこと(1)キ ④ 読むこと(2)エ</p>	<p>・事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。</p> <p>・文章の読み比べ方を学び、複数の文章を比較して考えを深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1 タイトルに込められた筆者の思いや、事例と主張に注目しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 第一段から、事故の具体例と筆者の主張との関係を整理し、「リスクの認識」について、筆者がどのような考えを述べようとしているかを読み取る。(手引き2)</p> <p>3 第二段から、「ギャングラーの誤謬」の例を通して筆者の述べたい内容をつかみ、昔と今日の状況の違いを捉える。(手引き3)</p> <p><第2時></p> <p>1 「ヒューマンエラー」に対する筆者の考えを読み取る。</p> <p>2 第三段から、脳の進化と文明の発展についての筆者の考えを読み取り、タイトルの意味を理解する。(手引き4)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>・推論の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、</p>

			<p>3「私たちは、ラップトップを抱えた『石器人』でもある」といえる根拠を、本文からまとめる。(論理の力)</p> <p><第3時></p> <p>1「文章を読み比べるために」を通読し、文章を比較する観点を理解する。(文章を読み比べるために)</p> <p>2「学ぶことと人間の知恵」(P56)と「ラップトップを抱えた『石器人』」を読み比べ、「人間の脳の特性」について自分はどのように受け止めるか、自分の知識や体験なども関連づけながら、考えをまとめる。(言語活動)</p>	<p>書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</p> <p>・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>[主]積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り、今までの学習を生かして人間の思考や脳の働きについて、複数の文章を読み比べながら、考えを深めようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>【論理の力】</p> <p>論証する力</p>	<p>[知技] (2)ア, ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ウ, カ</p>	<p>・論証の適切さを判断する方法を学び、説得力のある論証や反論を行う力を養う。</p>	<p><第1時></p> <p>1「事実」と「考え」の区別、「推測」と「意見」の違いを理解する。</p> <p>2「憶測」「独断」と「論証」の違いを捉え、「論証」において根拠を示す重要性を理解する。</p> <p>3「根拠の適切さ」と「導出の適切さ」について、【問6】の文章と解説を通して確認し、論証の説得力についての理解を深める。</p> <p><第2時></p> <p>1論証の説得力を検討し、反論する方法について理解を深める。</p>	<p>[知技]</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>・推論の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>[主]粘り強く論証の適切さを判断する「根拠の適切さ」と「導出の適切さ」という二つの観点を理解し、今までの学習を生かして説得力のある論証や反論方法について捉えようとしている。</p>
現実の中で (10～12月)				
<p>読む</p> <p>思考の肺活量</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ</p> <p>[思判表] 読む</p>	<p>・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿</p>	<p><第1時></p> <p>1論の展開に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p>

	こと(1)ア, エ	について理解を深める。	2 本文の主張について、「例示」の役割を持っている段落がどこか、指摘する。(論理の力) 3 「思考」のために必要な「肺活量」とはどういうものか理解する。(手引き 2) <第 2 時> 1 第二段における三つの例示について理解する。(手引き 3) 2 「思考の原型」について理解する。(手引き 4) 3 筆者が述べる、「思考」において「だいじなこと」を理解する。(手引き 5)	・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 [主] 粘り強く比喻によって表現された筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。
読む 安心について 考える楽しみ① ……言葉にするとき、しな いとき	[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, ウ, エ ㊦ 読むこと(2) ア [知技] (1)ア [思判表] 読む こと(1)ア	・ 文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。 ・ 言葉と思考の関係について理解する。	<第 1 時> 1 シュルツや『ピーナッツ』について知っていることを挙げる。 2 各段の話題に注意しながら、本文全体を音読する。(手引き 1) 3 筆者の考えを理解するうえでよく分からなかった部分について、質問を考える。(論理の力) 4 第一段の内容を、漫画を参考にしながら読み取る。(手引き 2) <第 2 時> 1 第二段を音読し、シュルツの半生を箇条書きにまとめる。 2 第一段の漫画の内容とシュルツの半生との関わりを理解する。 3 子供にとっての「安心」とは何かをまとめる。(手引き 3)	[知技] ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・ 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表

			<p>4 「母の苦しみはだんだんひどくなっていった。かわいそうなお母さん、ボクらは何もしてあげることができない。」には、どのような表現の工夫が見られるか考え、話し合う。(言語活動)</p> <p>5 第三段を音読し、世界の現状を踏まえ、「安心」が、全ての子供に行きわたっているわけではないことを理解する。</p> <p><第3時></p> <p>1 第四段を音読し、老人にとっての「安心」とは何かをまとめる。(手引き3)</p> <p>2 全体を読み直し、これまでの内容を振り返り、「安心」というものを筆者がどのように捉えているか考える。(手引き4)</p> <p>3 「言葉にすると、しないとき」を通読し、言葉の役割とその限界について述べられていることを読み取り、言葉を言葉で定義するにはどのようにすればよいか、考えてまとめる。(考える楽しみ①……言葉にすると、しないとき)</p>	<p>現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>[主]積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り、学習課題に沿って筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め、まとめようとしている。</p>
<p>読む</p> <p>【論理の力】</p> <p>質問する力</p>	<p>[知技](2)ア、ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)エ、カ</p>	<p>・質問の意義や種類を学び、よい質問をする力を養う。</p>	<p><第1時></p> <p>1 質問力を鍛える重要性和効能を、「読む力・聞く力」「書く力・話す力」「議論する力」の三つのポイントとのつながりから理解する。</p> <p>2 「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」という三種類の質問を理解し、物事に対する姿勢や心がけとの関連性を捉える。また、【問8】の発言に対して、観点を変えた質問を考え、その解説から質問の三つの種類についての理解を深める。</p> <p><第2時></p> <p>1 質問のよし悪しについて、【問9】の文章から考え、論理的な文章における鋭い質問とは何かについて理</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <p>[主]粘り強く論理的な思考力と質問する力の関連性を</p>

			解を深める。	捉え、学習課題に沿って論理的な文章におけるよりよい質問に対する考えを深めようとしている。
書く 仮説を立てて検証しよう	[知技] (1)エ／ (2)ア, ウ／(3) ア [思判表] 書く こと(1)ア, エ, オ ㊦ 書くこと(2) イ	・ 仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめる。	<p><第1・2時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「高校生の読書」について仮説を立てて検証し、検証の過程を文章にまとめた例を参考に、学習の進め方を理解する。</p> <p><第3～5時></p> <p>1 「課題」(P100)の中から一つを選び、問題の前提と、そこにどのような傾向が見られるかについて、インターネットを使うなどして現象を把握する。</p> <p>2 同じ課題を選んだ人どうしてグループに分かれ、課題の現象に基づく疑問点を出し合い、その原因や結果について仮説を立てる。</p> <p><第6～9時></p> <p>1 仮説を検証するための根拠となる情報を、インターネットなどを利用して集める。</p> <p>2 集めた情報を整理・分析し、立てた仮説の妥当性を検証する。</p> <p>3 集めた情報から、更に新たな疑問や課題が生じた場合、必要に応じて追加で調査を行う。</p> <p><第10～12時></p> <p>1 検証の過程を文章にまとめるため、構成を考え、メモを作る。</p> <p>2 構成メモをもとに、報告文にまとめる。</p> <p><第13・14時></p> <p>1 報告文が書けたら読み直し、仮説の検証過程が的確に伝わる文章であるかを確認し、必要があれば推敲する。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 推論の仕方について理解を深め使っている。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 <p>[主] 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見通しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。</p>

			2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、課題について各項目が達成できているかを確認する。	
			* D この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	

■ 3 学期

ものの見方（1～2月）

<p>読む 弱肉強食は自然の摂理か</p>	<p>【知技】(1)ア、イ、ウ 【思判表】読むこと(1)イ、エ ㊦ 読むこと(2)ウ</p>	<p>・筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。</p>	<p><第1時> 1 生き物の「強さ」の意味に注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 この文章における筆者の問題提起とそれに対する主張が書かれている部分を把握し、文章の構成を理解する。 3 「〈弱肉強食論〉には大きな疑問が横たわってしまいます。」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き2) 4 「食う者・食われる者の関係は力の強さとは別の話」と筆者が述べる理由を読み取る。</p> <p><第2時> 1 「統一的な強さの尺度」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き3) 2 「自然環境では様子が異なります。」について、「逃げ場のないような環境」と、「自然環境」のそれぞれの場合では、ライオンとシマウマの個体数がどのようになるか、読み取って整理する。(手引き4) 3 ハフエーカーの実験の目的は何かを読み取る。</p> <p><第3時> 1 「生態学における強さの概念」とは何かを読み取る。 2 「弱い者の肉が強い者の食料となることだけを想定する弱肉強食は、自然の摂理ではない」とあるが、なぜ</p>	<p>【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>【主】積極的に筆者の提示する問題や根拠を、学習の見通しをもって捉え、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解し、その内容について話し合おうとしている。</p>
---------------------------	--	---	--	--

			<p>そのようにいえるのか，読み取る。(手引き5)</p> <p>3この文章の中心的な「問い」と「主張」は何か，まとめる。(論理の力)</p> <p><第4時></p> <p>1ハフエーカーの実験結果のグラフから，どのようなことが読み取れるか，話し合う。(言語活動)</p>	
<p>読む 複数の「わたし」</p> <p>ブックガイド① ……学びの窓をひらいて</p>	<p>[知技] (1)ア，イ，ウ [思判表] 読むこと(1)ア，ウ</p> <p>[知技] (3)ア [思判表] 読むこと(1)キ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章に示された考え方を手がかりに，「わたし」の捉え方について理解を深める。 読書を通じてさまざまな学問の考え方を知り，視野を広げる。 	<p><第1時></p> <p>1タイトルの意味に注意して，本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2「私たちは，常に複数の役割を持って生きています。」とは，どのようなことか読み取る。(手引き2)</p> <p>3「誰とも関係を持たない『わたし』が，本当の『わたし』といえるのか」という筆者の問いに対して，ここまで読み取ったことを踏まえて自分の考えをまとめる。</p> <p><第2時></p> <p>1「近代の個人主義的な人間観」とは，どのようなものか，読み取る。(手引き3)</p> <p>2「小説家の平野啓一郎」と「英語の『個人 individual』」の例によって示される「分人」の概念について理解する。</p> <p>3「ハーゲンの人々の人格」とは，どのようなものか，読み取る。(手引き4)</p> <p><第3時></p> <p>1「ブタを飼育した女性の労働に目を向けてこなかった」という批判に対して，ストラザーンはどのように反論しているか，「根拠」の接続表現を用いてまとめる。(論理の力)</p> <p>2「別の『わたし』が「他者によって引き出される」とは，どのようなことか，読み取る。(手引き5)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 「読むこと」において，設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に，必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>[主] 粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り，学習課題に沿って筆者の言う「わたし」の捉え方について理解し，「わたし」に対する見方を広げようとしている。</p>

			<p><第4時></p> <p>1 「そう捉えると、少し気が楽になりませんか。」とあるが、筆者がそのように言うのはなぜか読み取り、まとめる。(手引き6)</p> <p>2 さまざまな学びや学問について取り上げた本を読み、学問の多様な視点や考え方について捉える。(ブックガイド①……学びの窓をひらいて)</p>	
働くよろこび(2~3月)				
<p>読む</p> <p>はじめに「言葉」がある</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア, カ</p> <p>④ 読むこと(2)イ</p>	<p>・筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「ファッション」と「言葉」の関係に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 「服というものは『生鮮品』にたとえられる」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き2)</p> <p>3 「本当に『今』をつまみ食いすることだけが、新しいことだろうか。」とあるが、筆者はこの問いに対してどのように考えているのかを読み取る。(手引き3)</p> <p><第2時></p> <p>1 「これらに共通する」(P127・10)「この美意識」(P127・12)について、指示語が指すものを読み取り、筆者が決めた「ある年の秋冬コレクションのテーマ」で何を表現したかったのかを理解する。</p> <p>2 「ふきよせ」という言葉で、筆者はどのようなイメージを表したのか、理解する。(手引き4)</p> <p><第3時></p> <p>1 筆者は「ある年の秋冬コレクションのテーマ」をどのように決定したのか、「根拠」の接続表現を用いてまとめる。(論理の力)</p> <p>2 筆者がコレクションのために言葉を「探していた」のはなぜか、読み取る。</p> <p>3 「その心の向かい方」とは、どのようなことか、読み</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く筆者が述べる「ファッション」と「言葉」の関係を捉え、今までの学習を生かして「働くこと」と「言葉」の関わりについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。</p>

			取る。(手引き5) <第4時> 1 読み取ったことを手がかりに、「働くこと」と「言葉」の関わりについて考えたことを話し合う。(言語活動)	
読む 楽に働くこと，楽しく働くこと 情景のなかの労働 鉄，千年のいのち 言葉の扉② ……知っておきたいカタカナ語	[知技] (1)ア，イ，ウ [思判表] 読むこと(1)イ，オ ㊦ 読むこと(2)エ [知技] (1)ア，イ，ウ [思判表] 読むこと(1)イ，オ [知技] (1)ア，イ，ウ [思判表] 読むこと(1)イ，オ [知技] (1)イ [思判表] 読むこと(1)ア	・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。 ・文章に取り上げられた事例をもとに，働くことについて理解を深める。 ・筆者の考えを捉え，働くことについて理解を深める。 ・さまざまなカタカナ語について理解する。	<第1時> 1 本文に述べられている「楽に働くこと」と「楽しく働くこと」の違いに注目しながら，本文を通読する。(手引き1) 2 本文について，「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考える。(論理の力) <第2時> 1 「工場のものづくり」がどのようなものを理解し，近代工場での労働の「楽さ」と「楽しさ」についてまとめる。(手引き2・3・4) 2 内山節と白鷹幸伯の著作について書かれた内容を整理し，筆者がこの二冊を薦める理由を理解する。(手引き5) <第3時> 1 本文を読んで「働くよろこび」について考えたことを話し合う。(言語活動) <第4時> 1 対比的に用いられている「働く」と「稼ぐ」という言葉の意味を押さえながら，本文を通読する。(情景のなかの労働) 2 筆者の言う『「仕事」の世界が作りだした景色の美しさ』(P140下・3)を理解する。(情景のなかの労働) 3 本文を読んで，「仕事」についての自分の考えを文章にまとめる。(情景のなかの労働) <第5時> 1 楽しく働くとはどういうことなのかについて関心を	[知技] ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，資料との関係を把握し，内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，関連する文章や資料を基に，書き手の立場や目的を考えながら，内容の解釈を深めている。 [主] 進んで「楽しく働くこと」について，それぞれの文章の筆者の立場に基づく考えを，学習課題に沿って理解し，「働くよろこび」について自分の考えをまとめ，話し合おうとしている。

			<p>持ちながら、本文を通読する。(鉄, 千年のいのち)</p> <p>2 筆者の言う鍛冶屋の楽しみを理解し, 和釘づくりが「歴史への参加」(P142 上・16) だという考え方を理解する。(鉄, 千年のいのち)</p> <p><第6時></p> <p>1 働くことのよろこびや「楽しく働く」とはどのようなことかについて, 「楽に働くこと, 楽しく働くこと」「情景のなかの労働」の内容も踏まえて考えたことを話し合う。</p> <p>2 「知っておきたいカタカナ語」を通読し, よく耳にするカタカナ語の意味を, その言葉が使われるようになった背景とともに理解する。(言葉の扉②……知っておきたいカタカナ語)</p>	
--	--	--	---	--